

三重県のチームオレンジの状況報告

令和6年3月
三重県医療保健部長寿介護課

【目次】

1. チームオレンジの整備（概要）

- ・ チームオレンジとは
- ・ チームオレンジ3つの基本
- ・ チームオレンジの種類
- ・ チームオレンジに係る国・県の目標値について

2. チームオレンジの整備（設置状況）

- ・ 東海北陸6県の状況
- ・ 県のチームオレンジ立ち上げ支援
 - ①三重県オレンジ・チューター派遣制度
 - ②チームオレンジコーディネーター研修
- ・ 三重県のチームオレンジ設置状況（令和6年1月末現在）

3. 県内のチームオレンジ活動内容

- ・ 津市 チームオレンジ・あしたば
- ・ 伊勢市 チームオレンジ
- ・ 桑名市 チームオレンジはなみずき
- ・ 鈴鹿市 チームオレンジ鈴鹿
- ・ 亀山市 チームオレンジかめやま
- ・ 東員町 チームオレンジ
- ・ 明和町 チームオレンジ「カフェとも」
チームオレンジ「ひまわり」
- ・ 玉城町 サポーターさくら

チームオレンジの整備(概要)

★チームオレンジとは

認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援として、市町村がコーディネーターを配置し、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーター(基本となる認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を受講した者)を中心とした支援者をつなぐ仕組み。

★チームオレンジ3つの基本

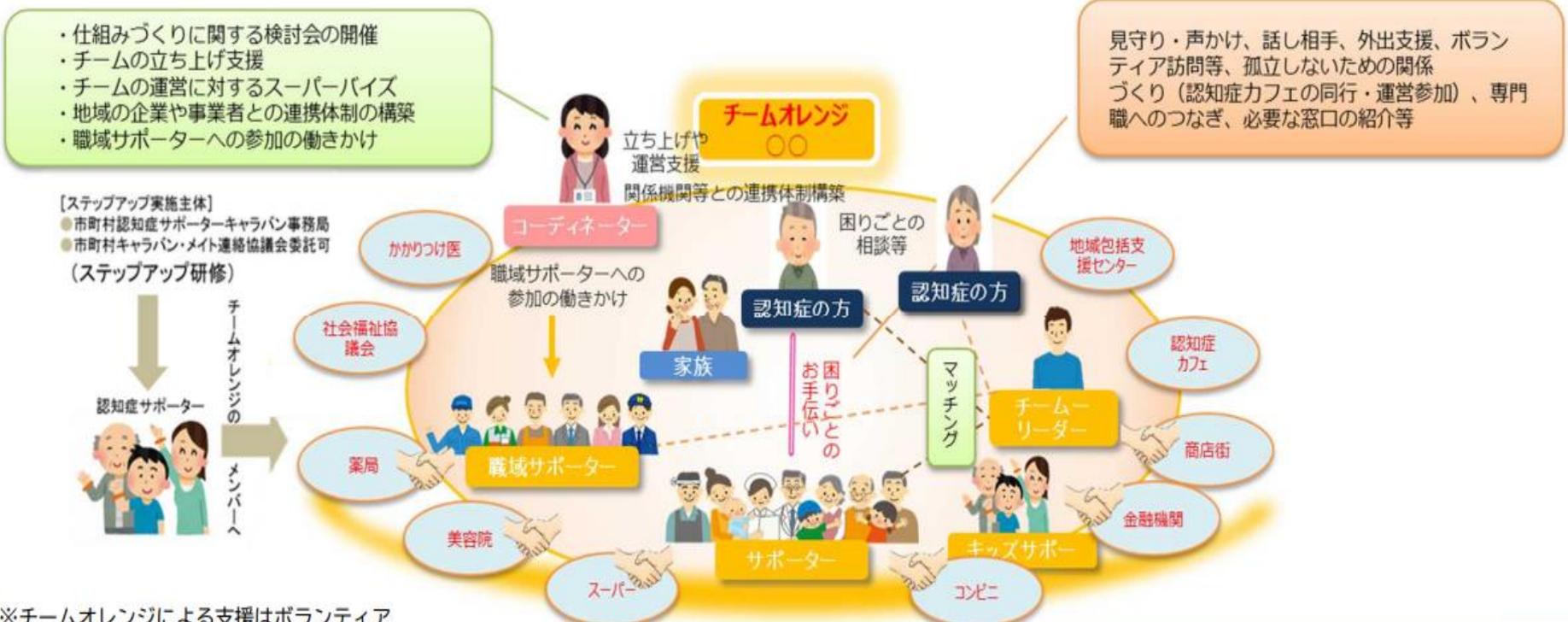
- ①ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている
- ②認知症の人もチームの一員として参加している。(認知症の人の社会参加)
- ③認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる



チームオレンジの種類	特徴
【第1類型】 共生志向の標準タイプ 活動の拠点の設置して活動	
【第2類型】 既存拠点活用タイプ 既にある地域資源の活動の中に、 認知症の人への困りごとへの対応を組み入れる	「まちなかサロン」や「認知症カフェ」 「介護予防教室」などをチームにする。
【第3類型】 拠点を設置しない個別支援型タイプ 活動拠点をつくりずに支援をする	既存のサロンや認知症カフェなどへ メンバーが訪問し支援等をする。

チームオレンジの整備(概要)

【KPI】各市町村1チーム設置



※チームオレンジによる支援はボランティアで行うことが望ましい。(地域医療介護総合確保基金を活用した介護人材確保のためのボランティアポイントの仕組みの活用も可能)

- チームオレンジ三つの基本**
- ①ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている。
 - ②認知症の方もチームの一員として参加している。(認知症の人の社会参加)
 - ③認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる

認知症当事者も地域を支える一員として活躍し、社会参加することを後押しするとともに、認知症サポーターの更なる活躍の場を整備

・認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業の 取扱いについて

「①ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている。」について

チームオレンジ立ち上げ時点

チームオレンジ立ち上げてから

必ずしもステップアップ講座を修了している必要はない。

・チームオレンジの運営を中心となって担うメンバーがステップアップ講座を受講していれば、チームオレンジに参加する全てのチーム員が受講している必要はない。
・地域支援事業実施要綱では、全てのチーム員が受講している必要はないとしているが、チームオレンジの取組の進め方や意義、認知症に関するより深い知識や他の活動事例を学ぶことが必要になると思われるため、順次、ステップアップ講座を受講していただくことが望ましい。

・認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業の 取扱いについて

「②認知症の人もチームの一員として参加している。
(認知症の人の社会参加)」について

本人の参加について

- ・地域支援事業実施要綱では、認知症の人にチームの一員として参加いただくことは望ましいが、一方で、本人がチームの一員として参加することは必須とはなっていない。
- ・本人の意見や意向を聞かないまま行われることがないように心掛けることが肝心である。認知症の人本人の意向をチームオレンジの活動に反映する機会を設けていることが必要である。

※「チームオレンジ三つの基本」とは、チームオレンジの取組を進めていく際の基本的な考え方(理念)を示したものであり、チームオレンジコーディネーターが各地域でチームオレンジの整備・運営を進めるための考え方や方法を示したものである。

「認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業の取扱いについて」(令和5年3月31日付厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課事務連絡)

チームオレンジに係る国・県の目標値について

○認知症施策推進大綱(KPI)

- ・2025(令和7)年
- ・全市町村で、本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み(チームオレンジなど)を整備

○三重県「みえ元気プラン」 【施策2-3】介護の基盤整備と人材確保

【基本事業3:認知症になっても希望を持てる社会づくり】

認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会をめざして、それぞれの地域で本人と家族を支えるため、認知症サポーターや認知症の人によるチームオレンジ等の支援体制を構築するとともに、医療と介護の連携を図り、認知症の予防や診断後の支援等に取り組むなど、「共生」と「予防」を車の両輪として認知症の人本人に寄り添った施策を推進します。

【KPI(重要業績評価指標)】

チームオレンジ整備市町数を令和8年度29市町に設置

- ➡ 認知症の人やその家族に対する心理面・生活面の支援等を行うチームを整備した数

チームオレンジの整備(設置状況)

東海北陸6県の実績(令和4年度実績)

都道府県名	設置市町村数 (市町村数との比)	チーム数	チーム員数	市町村数
全国(令和4年度実績)	399 (22.9%)	1,059	18,147	1,741
富山県	2 (13.3%)	2	42	15
石川県	3 (15.8%)	22	302	19
岐阜県	11 (26.2%)	21	347	42
静岡県	21 (60%)	60	1,262	35
愛知県	22 (40.7%)	36	601	54
三重県	8 (27.6%)	16	354	29
6県合計	67 (34.5%)	157	2,908	194

参考:厚生労働省 認知症施策・地域介護推進課認知症総合支援事業等実施状況調べを基に
東海北陸管内6県分を集計

三重県のチームオレンジ立ち上げ支援

令和2年

●オレンジチューターの養成

国の開催する研修の受講により、3名のチューターを養成

三重県
オレンジチューター
10名

令和3年

●チームオレンジコーディネーター研修 (R3.7.9)

- ・ オレンジチューターによる講義、グループワーク
- ・ 22市町が参加

●オレンジチューターの養成

- ・ 国の開催する研修の受講により、2名のチューターを養成

令和4年

●チームオレンジコーディネーター研修の実施 (R4.8.19)

令和7年度を目標に、全市町でチームオレンジの整備を目指す。
※オレンジ・チューター派遣事業を、4市町において活用

●オレンジチューターの養成

- ・ 国の開催する研修の受講により、2名のチューターを養成

令和5年

●チームオレンジコーディネーター研修の実施 (R5.7.4)

●オレンジチューターの養成

- ・ 国の開催する研修の受講により、3名のチューターを養成

～県のチームオレンジ設置支援の取組①～
三重県オレンジ・チューター派遣制度

【三重県オレンジ・チューターの役割】

- ① 認知症の人や家族の困りごとの支援ニーズと
認知症サポーターをつなげる仕組み「チームオレンジ」の**構築支援**
(助言、研修会講師等)
- ② チームオレンジの**資質向上支援**(助言、研修会講師等)

※ オレンジ・チューターとは

- 「オレンジ・チューター養成講座」(全国キャラバン・メイト連絡協議会実施)受講
- チームオレンジコーディネーター研修の講師

三重県
オレンジ・チューター
10名

～県のチームオレンジ設置支援の取組①～
三重県オレンジ・チューター派遣制度

○県では、チームオレンジ設置等に向け、依頼のあった市町へオレンジ・チューターを派遣しています。

➡令和4年度 4市町(津市、鈴鹿市、松阪市、亀山市、いなべ市)

※令和4年度亀山市は2回派遣

➡令和5年度 7市町(いなべ市、桑名市、松阪市、紀北町、熊野市、大台町、伊賀市)

※令和5年度桑名市、松阪市、紀北町は2回派遣

○地域の実情に応じて、派遣を行っております。

～県のチームオレンジ設置支援の取組②～ チームオレンジコーディネーター研修

★チームオレンジコーディネーター

チームオレンジの整備を推進していくための中核的な役割を担う人材。市町村に配置。

【役割】

- ①チームオレンジの立ち上げ
- ②ステップアップ講座の企画・開催
- ③チーム運営に対する助言等
- ④自治体管内のチームオレンジネットワークの構築

※コーディネーターは市町村等に1名以上配置される。(認知症地域支援推進員等の兼務可)

○チームオレンジコーディネーター研修

日時: 令和5年7月4日 場所: 県庁講堂

講師: 三重県オレンジチューター 公益社団法人認知症の人と家族の会三重県支部

鈴木 さとみ 氏 河合 晶子 氏
工藤 元貴 氏 佐野 佑樹 氏

- (1) チームオレンジについての概要
- (2) チームオレンジの立ち上げている市町からの報告
- (3) グループワーク「各市町の課題に対するグループワーク」

【研修実績】
24市町参加
53名参加

・三重県のチームオレンジ最新設置状況

★令和6年3月末現在、11市町にて設置済み

	活動人数	チーム数
津市	43名	1
伊勢市	67名	9
松阪市	37名	1
桑名市	20名	1
鈴鹿市	117名	1
亀山市	7名	1
鳥羽市	20名	1
木曾岬町	5名	1
東員町	29名	1
明和町	19名	2
玉城町	83名	1

活動内容は市町によって異なるため、詳細については、各市町認知症施策担当課にお問い合わせください。

～県内のチームオレンジ活動内容～

【津市】チームオレンジ・あしたば 《第3類型》

グループ名	内容
○認知症カフェ支援グループ	現在津市内にある認知症カフェの活動支援および必要に応じてグループメンバー自ら認知症カフェを開催する等、認知症カフェの地域への定着を図っていきます。
○認知症普及・啓発グループ	認知症に対する地域の理解を深める活動、啓発媒体の作成、普及啓発の企画をしています。
○認知症サポーター養成グループ	認知症サポーターへの勧誘やグループメンバーでの認知症サポーター養成講座の開催を通じて、多世代の認知症理解を広げていきます。
○個別支援グループ	認知症の人やその家族の困りごとに対して、個別支援(例:話し相手、散歩の同行、定期的な見守り、趣味活動継続のお手伝い等)を行っています。



「チームオレンジ・あしたば」全体会の様子

➡上記グループに分かれて、どういった活動をしていくのか、今後の活動の方向性を話し合っています。

～県内のチームオレンジ活動内容～ 【津市】チームオレンジ・あしたば 《第3類型》

認知症啓発を目的として、「認知症にやさしい街づくり」への理解や「認知症サポーター」への参加呼びかけを行いました。

★アルツハイマー月間啓発 9月1日、22日午前 イオン津南



メンバーが集まって啓発物の準備をしました。



★オレンジウォーク津 11月23日午前 津駅周辺



～県内のチームオレンジ活動内容～

【伊勢市】チームオレンジ 《第2類型》

【伊勢市の特徴】元々ある地域の集まりには認知症の方が参加していたり、認知症支援に関心をもっている方は多い。そのような既存の地域活動団体に働きかけ、認知症サポーターステップアップ講座を開催し、既存の社会資源を活用する形でチームオレンジを結成している。市内に複数のチームオレンジがある。

【活動内容】9つのチームがそれぞれの集いの場やカフェ、会食会などを拠点に、認知症のある利用者の見守りや話し相手を行ったり、日常の地域の中でも声かけなどの支援を行っている。

チームオレンジとなることで、チームとして活動する認識をもち、認知症になっても身近な地域で集まる場づくりの活動を実践している。

チームオレンジ名

家族の会つどい

オレンジカフェほほえみ

認知症カフェあこや

認知症カフェさくら

憩いの家たまちゃん

みなとカフェ

オレンジつどい

北浜まちづくり協議会地域福祉委員会

いきいきサロンひなたぼっこ

認知症サポーターステップアップ講座での講義や体験を通して、認知症の理解を深め、チームオレンジにつなげている。



認知症の方への関わり方についてグループワーク



外宮参道でのスローショッピングを体験

～県内のチームオレンジ活動内容～

【桑名市】 チームオレンジはなみずき 《第2類型》

チームオレンジ立ち上げまで

■ 認知症にやさしい 地域をめざして

東部地域包括支援センター
の担当地域の住民へ
認知症サポーター養成
講座&ステップアップ
講座開催

■ 活動意欲のある 住民へ実践者研修

ステップアップ講座を
修了した方で活動意欲
のある23名を対象に
オレンジサポーター実践
者研修と実習を開催

■ チームオレンジ はなみずき結成

実践者研修で一緒に学んだ住
民でチーム編成。地域の薬局
のカフェスペースを拠点に毎
月集まり、認知症本人や家族
も交えて活動



～県内のチームオレンジ活動内容～

【桑名市】 チームオレンジはなみずき 《第2類型》

活動内容

■ 思いを叶える。歩こう会の開催



散歩が趣味で歩こう会に入っていたAさん。しかし、認知症が進み参加できなくなった。再びAさんが散歩を楽しめるようにメンバーで歩こう会を企画し開催

■ 認知症サポーター養成講座で活躍

メンバーが小学校での認知症サポーター養成講座で本人、介護者としての経験を話すなど地域で活躍

■ 定期的な活動を通じて、さまざまな役割が担えるチームオレンジへ

月1回のカフェミーティングなど定期的な活動がさまざまな役割を担える場となっている

○認知症の本人、家族のやりたい！楽しい！を叶える場

○本人が役割を担う社会参加の場

○介護者が本人と楽しい時間を過ごす介護者支援の場

○メンバーが認知症本人、家族と出会う場
など

～県内のチームオレンジ活動内容～

【鈴鹿市】チームオレンジ鈴鹿 《第1類型》

○認知症のご本人・ご家族を「オレンジ」、サポートをする方々を「フレンド」と称して活動実施

【1】オレンジカフェの運営

包括圏域に1つずつ(8か所)にオレンジカフェを設置。その運営を各圏域にお住まいのフレンドさんを中心に月に1回の開催。

【2】グループ活動支援

(1)既存の認知症関連事業へのチームオレンジの協力

①若年性認知症者の会「レイの会」の方による洗車活動

若年性認知症の方の社会参加活動として社協の公用車を洗車。

フレンドはサポートを行う。

②おれんじルーム

認知症本人とそのご家族が参加。折り紙、すずか踊り、将棋、お話などを共にする。

③スローショッピングの日

誰もが安心して買い物ができるよう「おもいやりレジ」「おもいやりカフェ」を設置。

マックスバリュ東海株式会社と協力して実施。フレンドによる買い物の付き添い。

令和5年12月に鈴鹿店でもスタートとなり、合計2店舗での開催となる。

④認知症カフェへの協力

市に登録している認知症カフェへの参加・協力。

(2)周知活動グループ

イベントや各活動に使用するグッズ(オレンジロボのマスコットやADイベントの啓発物等)の作成。

～県内のチームオレンジ活動内容～

【鈴鹿市】チームオレンジ鈴鹿 《第1類型》

○オレンジカフェの運営



～県内のチームオレンジ活動内容～
【鈴鹿市】チームオレンジ鈴鹿 《第1類型》

○スローショッピングの日の様子



～県内のチームオレンジ活動内容～

【亀山市】チームオレンジかめやま 《第2類型》

【支援内容】普及啓発、認知症カフェ支援

【活動地域】亀山全域

【活動内容】

- 定期的にチーム員が集まり、意見交換を実施
- 近所の集まりや道ですれ違った際に声かけを実施
- 毎月、図書館において普及啓発の一環として公開講座を企画・実施
- 認知症カフェの運営支援

以下のグループで計画を立て、活動しています。

○認知症カフェ支援グループ

○認知症普及啓発グループ

○個別支援グループ

誰もが暮らしやすいまちをめざして

～知ってあんしん認知症～

ぜひご参加ください



誰もが住み慣れた場所で暮らし続けられるよう認知症の理解を深め、ともに支え合えるまちづくりを目指して、認知症に関する講座を開催しております。

開催日	内容
令和5年7月26日(水)	「認知」どうまく付き合い、よりよい介護を！ ～アンサーマネージメント～
令和5年8月23日(水)	いつもでも元気ないるために ～今から始めよう！レイル子船～
世界アルツハイマーデー 令和5年9月21日(木)	「認知症講演会」
令和5年10月25日(水)	知ってあんしん 認知症と薬の話
令和5年11月22日(水)	消費生活トラブルに巻き込まれないためには
令和5年12月27日(水)	寄り添ってみよう、認知症の方の気持ちに ～カードゲームを使って考えよう～
令和6年1月24日(水)	みんなでお祝い「専配通書」 ～「専配通書」に対する「共助」地域づくりについで～
令和6年2月28日(水)	認知症とともに ～人と人をつなぐ認知症～
令和6年3月27日(水)	大切な人が認知症とわかったときの 家族の気持ちや介護事例

会場 → 市立図書館 1階 多目的室 (亀山市両幸町318-1)

時間 → 13時30分～15時

定員 → 各回 30名程度(12月のみ20名)



カナリアカフェのご案内

憩いの場でみんなでおしゃべりしましょう。



気が向いた時に来て、いつ帰っても良い気軽な場所です。

開催日 令和5年度 原則第3火曜日

この日は認知症サポート医が参加します。
身近なことを相談したり、気軽にしゃべりましょう。

10/17・ 11/21・ 12/19

R6.1/16・ R6.2/20・ R6.3/19

時間 13時30分～15時30分

*ご都合のいい時間に来てください。
*出入り自由です。 場所 あいあい 2階 大会議室

どなたでも参加できます！

下記に該当する方はぜひご参加ください。
*認知症のことが気になる方 *認知症の方を介護している方

カナリアカフェとは？

*気軽に集まり、話をする場所があります。
*専門職がいますので相談することができます。
*知りたいことなど一緒に学べ、お手伝いができます。
*イベントを開催することもあります。

参加無料
申込不要

カナリアカフェ(元気カワ)のお問い合わせ先
 亀山市健康福祉部地域福祉課高齢者支援グループ
 ☎0595-84-3312

～県内のチームオレンジ活動内容～

【東員町】チームオレンジ 《第2類型》

【認知症普及啓発】

○9月のアルツハイマー月間には図書館で普及啓発

9月のアルツハイマー月間に向けて啓発用グッズを製作！
それぞれ得意なことを活かしながらみんなで作業！



○認知症関連図書すたんぷカード事業

9月から約2か月間、図書館にて認知症啓発活動！
すたんぷカードも多くの方に参加してもらい大盛況！



【勉強会と意見交換会】

認知症の勉強会や活動内容についての
グループワークなどみんなで定期的に集まって検討！



【まめまちカフェ（認知症カフェ）支援】

【ランチミーティング】

【明和町】チームオレンジ「カフェとも」《第2類型》

令和5年2月に設置。カフェとも16名。(令和6年1月時点)

認知症カフェ「脳の健康つながりサロン」にて、認知症ご本人やご家族のお話を傾聴したり、ご本人のワークショップ等のサポートを行っている。

アルツハイマー一月間の啓発の取り組みのための物品作成などを行っている。

普段の座談会の様子



アルツハイマー一月間や文化祭等での啓発活動に使用する作品づくり



役場玄関に飾りました。

ご本人さん、昔は手芸がお得意ということから、手縫いで作っていただきました。「手が覚えとるなあ」と一言。

「認知症になってもしたいこと」をテーマに書いてもらった意見がこんな素敵な作品に。

【明和町】チームオレンジ「ひまわり」《第2類型》

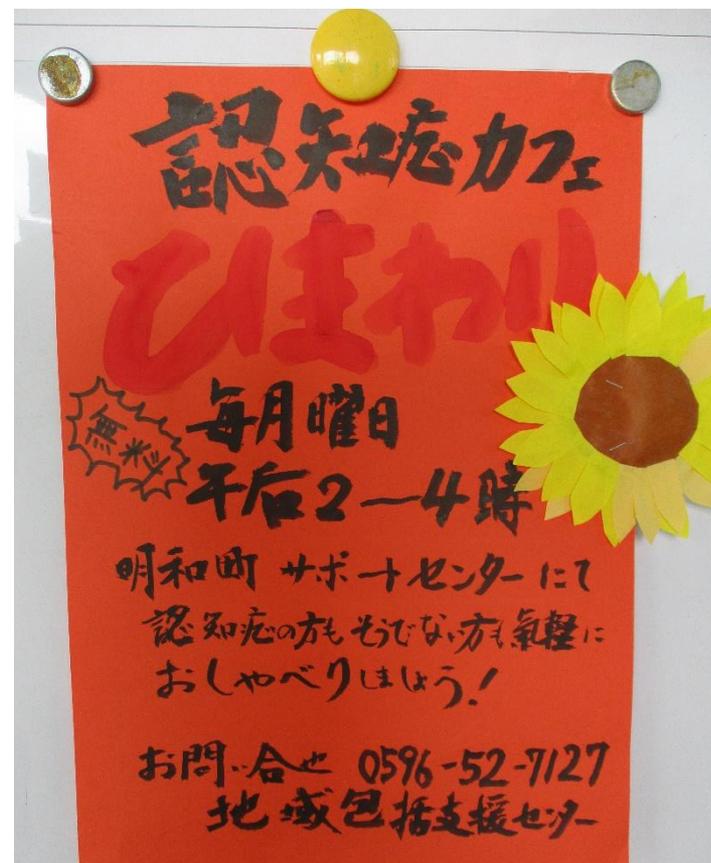
令和6年1月に設置。

認知症サポーターステップアップ講座を受講された地域の方々が、認知症カフェ「ひまわり」を開設し、チームオレンジを結成。

- 毎週月曜日に開催し、認知症ご本人や介護者の方々の参加があります。
- 毎月1回(不定期)、うたごえ喫茶を開催します。懐かしい名曲の数々を一緒に楽しめます。
- ご相談内容によっては、地域包括支援センターと連携を行います。



令和5年12月、ステップアップ講座を開催。
認知症看護認定看護師による講話とグループワークを行いました。



～県内のチームオレンジ活動内容～

【玉城町】サポーターさくら 《第2類型》

●立ち上げまでの経緯

玉城町では認知症サポーター「サポーターさくら」が平成20年から活動。
令和4年11月13日の認知症予防講演会において、チームオレンジ宣言をした。

支援内容

(1) つどい場「協」

週3回開所。

開所時間は誰でも自由に参加可能。手芸や将棋等好きな活動をして過ごす。

(2) 家族会の実施

2カ月に1回開催。本人や家族が集まる機会を提供している。

(3) 一般介護予防事業への参加

サポーターとして介護予防教室運営に参加。

(4) ほか

認知症サポーター養成講座の開催、ケーブルテレビを活用した啓発劇の実施、
高齢者見守り・声かけ訓練等への協力

～県内のチームオレンジ活動内容～ 【玉城町】サポーターさくら 《第2類型》

